

社長メッセージ

はじめに

2015年6月、弊社第109回定時株主総会、およびその後の取締役会決議において代表取締役社長に選任されました。弊社の持続的成長に向け知恵を絞り、精一杯努力していく所存ですので、よろしくお願いいたします。

大豊工業の使命

当社がコアとする“トライボロジー技術”は、有史以前から人とともに歩んできた技術です。ものを動かす時「摩擦、滑り、摩耗」などが発生します。これらを現代の工学の目で組み立てたのが“トライボロジー”という研究領域です。当社はこの“トライボロジー”を基盤に、自動車用をはじめとした各種の滑り軸受をもって摩擦の低減、そして自動車燃費の改善に取り組むこと、軸受から軸受に関連する潤滑系各部へ技術領域を拡大しさらに大きな摩擦低減を実現すること、永年培ってきた、製品化技術を持って排出ガス低減など環境改善技術を広く提供していくことを使命と考えています。

一方、モノづくりの領域では多くのエネルギーを使用しています。当社は材料から製品までの一貫生産体制により、お客様に満足いただけるより良い商品をより廉価にタイムリーに提供できることを強みとしています。その製造工程には鋳造、焼結、熱処理など多くの熱エネルギーを使用する工程が含まれています。それらの工程をより効率の良いものにするために、新工法・新技術を積極的に導入するとともに、一貫製造の強みを活かしネットシェイプ化、歩留まり向上、不良率低減などロスのないモノづくりを追求してエネルギーや廃棄物の低減に貢献することもモノづくりの会社として重要な使命と考えています。

「資源、エネルギー環境、大気環境」など当社が貢献しうる領域、果たすべき役割はますます拡大してまいります。グループ総力を挙げて全力で取り組みます。

信頼されるグローバル企業を目指して

今年度は2009年に策定した「VISION2015」と、2013-2015年中期経営方針の結びの年でもあります。目標達成のために、中期経営方針の中で示した活動の3軸「製品・製造領域のグローバルな拡大」「製品技術・生産技術の革新」「人材力の強化」のもと、成果に結び付けなければならないと考えます。

2014年には次代に向けた持続的成長のロードマップとして「VISION2020」を策定いたしました。2020年のあるべき姿として、ステークホルダーの皆様への貢献を考え、当社のコア技術を持って事業を継続させたいという思いが込められています。

昨年、創業70周年を無事迎えることができました。これからも諸先輩の努力によって築き上げてきた事業をグローバルに発展させ、2020年、そしてその先につながる会社の未来への道を切り開いていきたいと思っております。

大豊工業レポートの発行にあたり

本レポートは一昨年まで「環境報告書」としてまとめてまいりましたが、昨年よりCSRを含む、より広い範囲で会社活動への理解を得ようという目的で、「大豊工業レポート」という統合的な形で報告書を作成しています。社会への貢献なくして企業の存在価値はありません。貢献とは、製品、生産活動、地域交流をはじめとし、すべての従業員の活動を含んだ結果です。全員が愚直に、明るい職場づくりを心がけていくことが、会社の持続的発展、将来への笑顔につながると思っています。今後ともすべてのステークホルダーの皆様から、当社活動に対するご理解と、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



大豊工業株式会社
代表取締役社長

杉原 功一